

## 科学的根拠に基づいた育児支援に向けた 「子育て相談を支援するデータベース」の開発

研究協力者 堀内 清華（山梨大学大学院総合研究部医学域附属出生コホート研究センター）  
                  秋山 有佳（山梨大学大学院医学工学総合教育部社会医学講座）  
研究代表者 山縣 然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

インターネットやソーシャルメディアの普及により、子育て支援の情報の入手が比較的簡単になった一方で、科学的根拠に基づかない情報も多く拡散され、その正誤を判断することは難しくなっている。誤った情報は、養護者の不安を増強するだけでなく、時には子どもの発育・発達にとって悪影響を及ぼす危険性もある。様々な質問を受ける保健師、助産師などの保健従事者は、科学的根拠に基づいて、質問に対応していくことが求められる。そこで、本研究班では、妊娠・出産・育児に関する相談に際して、保健従事者が科学的根拠を示しながら対応できるよう、データベースの構築を行った。保健従事者が本データベースを活用して相談支援を行うことにより、養護者の不安が解消され、科学的根拠に基づいた子育てが促進されることが期待される。

### A. 目的

妊娠・出産・育児における不安に対して適切な情報を提供することは、不安の解消および子どもの健やかな成長にとって重要である。

インターネットやソーシャルメディアの普及により、子育て支援の情報の入手が比較的簡単になった一方で、科学的根拠に基づかない情報も多く拡散され、その正誤を判断することは難しくなっている。誤った情報は、養護者の不安を増強するだけでなく、時には子どもの発育・発達にとって悪影響を及ぼす危険性もある。様々な質問を受ける保健師、助産師などの保健従事者は、科学的根拠に基づいて、質問に対応していくことが求められる。そこで、本研究班では、妊娠・出産・育児に関する相談に際して、保健従事者が科学的根拠を示しながら対応できるよう、データベースの構築を行った。

### B. 方法

保健指導の冊子や、子育て支援の雑誌の質問

欄を調査し、妊娠・子育て中の養護者から多く寄せられる質問項目を抽出、16分野に分類した（アレルギー、インターネット、運動・遊び、喫煙、健診、環境、子どもとのかかわり、事故、食・授乳、睡眠、多胎児、地域で子育て、父親、歯、発達、その他、の16分野）。対象範囲は、妊娠、出産、子育て（新生児から学童期まで）とした。

抽出した各質問に回答する形式で、原稿を作成した。原稿は、論文検索により得られた知見を基に作成し、科学的根拠による評価をつけた。科学的根拠については、根拠の強さによって、  
1. システマティックレビュー、介入研究（ランダム化比較試験、非ランダム化比較試験）、  
2. 観察研究（コホート研究、ケースコントロール研究、横断研究）、  
3. 記述統計、症例報告、  
4. 専門家の意見等（総説や教科書など含む）、  
5. 不明（科学的根拠が見つからないものも含める）に分類した。データベースでは、分野、語句、科学的根拠の強さ（科学的根拠の強さに

よって5段階に分類)から検索ができるようにした。

## C. 結果

子育て相談を支援するデータベースを構築した。現在、50本の原稿が閲覧可能となっている。

(<https://rhino4.med.yamanashi.ac.jp/knowledge/pub/>)

今後は、本データベースを実際に育児支援にあたる保健従事者に試用を依頼し、フィードバックを得て改修を行う予定である。

## D. 考察

本研究班では、科学的根拠に基づいた妊娠・出産・育児の支援を促進するために、妊娠・出産・育児の際に多く寄せられる質問に関して、科学的根拠の有無やその強さを調査し、データベースとしてまとめた。

保健従事者が本データベースを活用して相談支援を行うことにより、養護者の不安が解消され、科学的根拠に基づいた子育てが促進されることが期待される。

## E. 結論

妊娠・出産・育児に関する相談に際して、保健従事者が科学的根拠を示しながら対応できるよう、データベースの構築を行った。今後は、本データベースを実際に育児支援にあたる保健従事者に試用を依頼し、フィードバックを得て改修を行っていく。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

なし

## G. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし